

一般演題の発表に向けて

司 会：鈴木 智美（可也病院／精神分析キャビネ）
衛藤 暢明（福岡大学医学部精神医学教室）
演者（講師）：日下 紀子（ノートルダム清心女子大学／関西心理センター）
平野 直己（北海道教育大学）

本学会は、臨床経験を重視し、見立てから治療経過の詳細を報告する点において他に類を見ない特徴を備えている。このような前提をもとに、前回大会の第70回大会では、「研修症例の発表に向けて」というテーマで教育研修委員会企画を行った。

一般演題の発表は、研修症例に加えて、「1-1. 個人精神療法・個人心理療法」と「1-2. 精神分析的理解に基づく応用的実践」の2つのカテゴリーの中で、「1-1. は症例／事例研究に相応する、1-2. は応用に相応する精神分析的観点からの学問的もしくは臨床的主張」が求められるということが明示されている。

精神分析的な考えに基づいて構造化された面接の実践の報告で、いかに臨床的主張の妥当性と独創性、先行研究との必要最小限度の照合を含めた考察を行うかについても重要な事項となる。

今回の教育研修委員会企画は、前回に引き続き、本学会の目的である「こころの臨床の領域の専門家が広く集まり、精神分析的な臨床実践にもとづいた経験や知見を磨き、それらを会員相互が分かちあうこと」を広げるための試みの一つである。一般演題の発表に向けた発表の準備がテーマとなる。演者は、第70回大会のプログラム準備委員長の日下紀子、第71回大会のプログラム準備委員長の平野直己が発表する。多くの会員に一般演題への演題登録に際して役立ててもらいたい。